

令和2年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 鹿児島県立農業大学校農学部野菜科

1 目的

ごぼう栽培での雑草対策は、は種後の除草剤と手取り除草を行っており、生産安定のうえで重要な作業であるが、労力を要している。

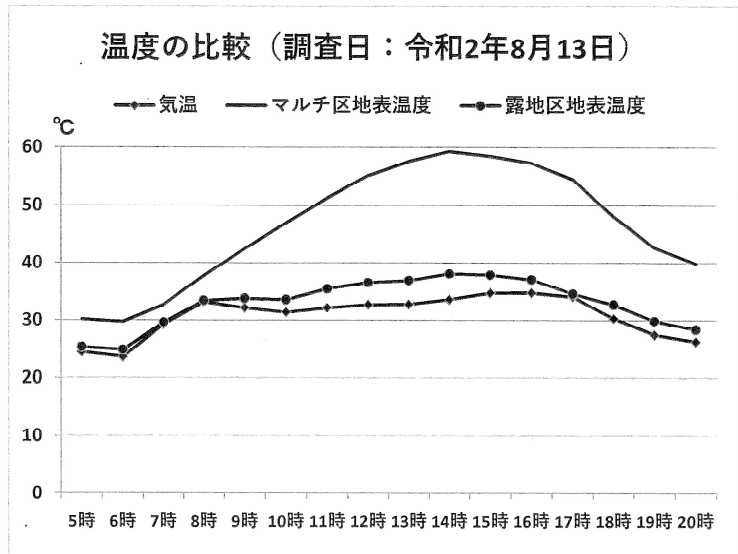
そこで、太陽熱消毒を行い、雑草の抑制効果の調査研究を行い、ごぼうの生産安定および労力軽減に役立てる。

2 実施状況

(1) 地温の調査

太陽熱消毒期間を通して地表面の温度を1時間ごとに計測した。太陽熱消毒区の最高地温は約60℃であり、同じ時間帯の慣行区(裸地)の地表面温度は約38℃であった。消毒期間の平均地温は、太陽熱消毒区が約40℃、慣行区(裸地)は約30℃であった。

最も地温が高かった8月13日の太陽熱消毒区の地温は、午前11時から午後5時まで50℃以上であった。



(2) 雑草発生状況調査

慣行区はムラサキツユクサやカヤツリグサなどの6種類の雑草が発生したが、太陽熱消毒区は雑草の発生はなく、太陽熱消毒による雑草抑制効果を確認できた。(表1)

表1 慣行区1㎡当たりの雑草発生状況

雑草名	本数	生草重量
ムラサキツユクサ	1本	21.6g
カヤツリグサ	8本	0.7g
スベリヒユ	8本	14.3g
イヌビユ	17本	6.1g
オヒシバ	50本	2.9g
ザクロソウ	520本	9.8g

3 今後の課題, 取り組み

発芽率の向上, 台風対策